



# たまな 市議会だより

- 太陽光発電補助金追加補正2,000万円
- プレミアム商品券に2,000万円補助

題字：三池 千尋さん  
(横島小学校6年)

☆ホームページのアクセスは、検索画面で   を入力してクリック！

2010  
**10/15**  
NO.20



■平成23年3月12日鹿児島から大阪までの直通運転開始に向け走る九州新幹線「さくら」

市議会だより

9月定例議会

9月定例会は9月3日から9月17日まで開催され、上程された議案については、いずれも原案どおり可決した。

一般会計補正予算については歳入歳出それぞれ17億8千706万8千円を追加し、総額279億5千785万8千円となった。

主な内容は

◎住宅用太陽光発電システム設置補助金2千万円

◎地上デジタル放送共同受信施設整備事業4千153万6千円

◎九州新幹線開業記念プレミアム商品券事業2千万円

◎玉名平野地区排水路工事(まちづくり交付金事業)1億1千176万8千円

また平成21年度決算については決算特別委員会へ付託された。(10月26日～10月28日)

一般質問では13名の議員が登壇し、活発な質問がかわされた。

一般会計 歳入歳出 17億8,706万8千円を追加

歳入

国庫支出金 8,948万4千円	県支出金 1,825万9千円	繰越金 5億8,198万4千円
地方交付税 1億2,474万3千円	分担金及び負担金 104万8千円	市債 9億7,155万円

平成22年度一般会計補正予算・歳入歳出総額 279億5,785万円

<p><b>民生費</b> 1,591万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅手当緊急特別措置事業 388万6千円</li> <li>公立保育所運営費負担金 853万3千円</li> </ul> 	<p><b>総務費</b> 10億1,477万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域振興基金積立金 5億円</li> <li>財政調整基金積立金 5億円</li> </ul> 	<p><b>衛生費</b> 2,272万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用太陽光発電システム設置費補助金 2千万円</li> </ul> 
<p><b>商工費</b> 6,229万1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地上デジタル放送共同受信施設整備事業補助金 4,153万6千円</li> <li>九州新幹線開業記念プレミアム商品券事業補助事業 2千万円</li> </ul> 	<p><b>農林水産費</b> 3,630万2千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担い手規模拡大事業補助金 600万円</li> <li>農業機械等整備事業補助金 1,151万7千円</li> <li>イエロープロジェクト補助金 280万円</li> </ul> 	<p><b>土木費</b> 1億2,102万1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>玉名平野地区排水路工事(まちづくり交付金事業) 1億2,102万1千円</li> </ul> 
<p><b>教育費</b> 1,554万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ・スクール推進事業補助金 60万円</li> <li>「なかよしの日」制定に係る経費 200万円</li> </ul> 	<p><b>災害復旧費</b> 1,474万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産施設災害復旧費 1,275万9千円</li> <li>公共土木施設災害復旧費 198万7千円</li> </ul> 	<p><b>公債費</b> 4億8,009万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>繰上償還元金</li> </ul>

陳情審議結果

件名	所管委員会	委員会結果	本会議最終結果
平成21年陳第5号 暮らし支える行政サービスの拡充を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続 (全員一致)	継続 (全会一致)
平成21年陳第6号 消費税増税に反対し、住民税をもとに戻し、社会保障の充実を求める意見書の提出に関する陳情	総務委員会	継続 (全員一致)	継続 (全会一致)

教育委員人事  
次の方を同意しました。  
笠 久美子

質問に立った議員名(会派名)は次のとおりです。  
(質問順に記載)

# ここが聞きたい

## 一般質問



ここに記載した質問と答弁は要約したものです。  
前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会サイトで閲覧できます。

- 蔵原 隆浩 (新生クラブ)
- 田畑 ひさよし (有明クラブ)
- 前田 正治 (無会派・共産)
- 青木 ひさし (無会派・公明)
- 永野 忠弘 (無会派)
- 近松 恵美子 (蒼風会)
- 吉田 きとく (自友クラブ)
- 北本 節代 (市民クラブ)
- 中尾 嘉男 (有明クラブ)
- 横手 良弘 (市民クラブ)
- 内田 靖信 (自友クラブ)
- 宮田 知美 (無会派)
- 江田 計司 (蒼風会)

### どうする！新駅周辺の整備方針と定住化推進



蔵原 隆浩

**議員** 新玉名駅開業まであと半年。3月議会での周辺整備についての答弁から既に半年が経過したが、その整備方針はもう明確になったのか。

**市長** 3.2ヘクタールの整備方針は、ジャスコ撤退による中心市街地の空洞化対策と同時に本市の魅力の維持向上の取り組みが必要であり、民活による整備も含め総合的に判断し、年度内に結論を出したい。

**議員** 玉名市の一体的で本格的な定住施策の推進に向けて、3月議会で提案したが、半年を経過した今、現在の取り組みと今後の計画や方針を再度問う。

**市長** 現在、ホームページでのPRや大都市圏での相談ブース出展を実施している。今後、民間との連携強化を図る一方で、新幹線通勤などに優遇措置導

入を検討し、開業効果を最大限に活用したい。

### バランス感覚に優れた行財政運営を！

**議員** 地域主権改革の推進で今後多くの事務の権限移譲が予想されるが、職員削減を断行することで、住民サービスに影響を及ぼすことはないのか。

**総務部長** 住民サービスへの影響が多少あることは否めないが、退職者の3分の1を新規採用する方針を踏襲しつつ、必要に応じて住民サービスへの影響を探るための検証・評価の方法を検討する。

**議員** 第2次職員定員適正化計画については現状での問題点などの検証もなく、実施には不安を覚える。市民サービスを維持するための適正配置を踏まえた人員削減の具体策は。

**総務部長** 第2次玉名市職員適正化計画に基づく各種の適正化の手法のもと、職員の適正配置も考慮しながら、安定した行政運営を行い、住民サービスを維持していきたい。

### 企業局の事業発注の在り方について



田畑 ひさよし

**議員** 昨年発注の八嘉水道未普及地域の事業では土木工事と受水槽はまったく違質であるからと言う理由で別々発注され、近況に発注された事業

は、土木、受水槽一括で発注され前事業との一貫性がなくまた、前回はボルト締め工法、今回溶接工法と、行政が公平、公正な立場で公の場で見積もりを取らず、設計会社の見積もりで決定された手順に問題がある。見積もりは入札と同等の行為で行政が要求して立ち会いの上、同時に開封するのが信頼を得る方法である。今回の見積もりの取り方は行政上あってはならない行為であり信頼性のない方法は無効に等しく、事業の不信感にどう対処されるのか。行政のむだ遣いを延長する行為と思われる。

**議員** 昨今の異状気象は想像に絶する高温が続いたり局地的な大雨で大洪水が世界中で発生、火山列島日本いつ爆発が起るか、海に面した玉名は大津波の心配、菊池川のはらんなど、常にその対応、政策の推進を、特に耐震構造の完備、公共施設や指定避難場所の整備充実を促進すべきであり、安全な町づくりを要望する。

**企業局長** 工種の違う発注については、事業規模や設備等に要する全体事業費により分割発注と一括発注となった。一部特殊製品の見積りを委託業者に行わせた事については不適切であり、今後は、行政の責任で同時開封を行い適切に対応し箱谷・三ツ川地域水道事業の早期完了に向け努力する。

### 災害、緊急避難施設の充実を早急に！

**議員** 昨今の異状気象は想像に絶する高温が続いたり局地的な大雨で大洪水が世界中で発生、火山列島日本いつ爆発が起るか、海に面した玉名は大津波の心配、菊池川のはらんなど、常にその対応、政策の推進を、特に耐震構造の完備、公共施設や指定避難場所の整備充実を促進すべきであり、安全な町づくりを要望する。

**建設部長** 避難場所へのアクセス道路については、早急に整備推進する。

**総務部長** 災害時の避難場所として、耐震化に努め、安心安全なまちづくりを進める。

一般質問

新庁舎建設位置は？



前田 正治

イーネットも、いつの間にか失ってしまっただけだ。

今までの取り組みの充実ももちろんだが、地域のつながりを第一に、「地域づくり」を進める。

議員 新庁舎建設検討委員会の答申を市長はどのように受けとめるか。また、建設位置は2ヶ所以外にもあるのか。

市長 委員会から提案いただいた内容を精査し、庁内や地域協議会、議会等の意見も伺い総合的に判断しなければならぬ。未来にわたり市民に愛される庁舎づくりを目指したい。

議員 合併協議で合意した「新庁舎は本庁方式で」という事を覆すことには至らなかったと聞いた。最終的に市民が不便と感じないようなものとなるよう、検討を進めたい。

議員 高齢者の所在不明問題から、市政に生かす教訓は。

健康福祉部長 経済社会の発展で核家族化が急速に進行し、日々の暮らしにあったセーフテ

レインボールーム存続を！

議員 レインボールーム存続への取り組みは。

健康福祉部長 病気療養中の児童を仕事の都合などで保育できな

きに預かる「病児・病後児保育事業」を医療法人社団一心会が運営する施設「レインボールーム」に運営を委託してきた。この施設を平成22年度で閉鎖する旨の通知があり、再考を促すよう努めたが、今後ともこの事業が継続できるように努力したい。



▲ 存続を求めるレインボールーム

高齢者、障がい者へ「ごみ」の戸別収集を！



青木 ひさし

議員 ごみステーションまで身体的不自由な方々に戸別ごみ収集の実施を！

環境市民部長 ホームヘルプサービスの利用や、一部地域におけるごみ出し支援があつてお

各種予防ワクチンへの公費助成を！

議員 国も自治体の公費助成が広がっている。ぜひ本市でも実施ができないのか！

健康福祉部長 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチン接種について、国

においても任意の接種であるため、本市では自己負担による実施で公費助成はまだ実施していない。今後、国や近隣市町の動向を見きわめつつ、市民の健康保持・増進と将来の尊い命を救う観点から、公費助成について、検討していきたい。

ジャスコ玉名店の再生を！

議員 閉鎖が決まったが、周辺の買物弱者への対応を！

産業経済部長 ジャスコ玉名店を中心に、半径500m以内の9つの行政区人口から推計すると、600〜700人程度が買物弱者になり得ると予想される。市としては、施設管理会社に対し、後継店舗には、1階に食品スーパー等の入店を要望している。



一般質問

児童数の減少につき  
統廃合の計画はあるか



永野 忠弘

**議員** 児童数の減少が進んでいる中、複式学級の学校、クラスの数が増えていく現状で複式学級での学力等を危惧する。補助員等の活用の計画はあるか、近い将来学校の統廃合の計画はあるのか。

**教育長** 複式学級に限って、担任とともに学習を補助する職員を配置することは、予算等との関係もあるので、今後、学校の適正規模の面とともに検討したい。児童生徒一人一人が能力を十分に伸ばし、充実した学校生活を送っていくために、学校の適正規模を考え直す必要があると感じている。

今後、校区の再編や学校の統廃合を検討する場合には必要な学校適正規模調査を実施したいと考えている。地域住民の方々や専門家の方々からも意見をうかがい、適正な学校規模を初め、学校の統廃合についても、調査研究していきたいと考えている。

音楽の都「玉名づくり」の  
強化で活性化を！

**議員** 古くから音楽を愛し楽しむ市民性、土壌がある玉名を行政が主体的に協議会等立ち上げ、音楽の都玉名をメジャーへ。また音楽祭等行える機能性を持った音楽ホールの建設の必要を感じるが計画はないのか！

**教育長** 行政も関与しながら、これまで組織化されていなかった「玉名市音楽推進協議会」(仮称)のような横のつながりを大切にする市民音楽組織の設置を口指していく。「音楽の都」として機能性が高い音楽ホールの整備については、今後老朽化が心配される市民会館整備の協議の中で、その機能性等も含めて検証していく。今年度は1月23日に地元高校やジャズ演奏者マルタ氏を迎えて玉名市音楽祭を計画している。



▲ 玉名市音楽イベントのマスコットゆるキャラ「タマにゃん」

急げ！  
経済活性化対策



近松 恵美子

**議員** さまざまな市民が、今までの経験を生かして、何か自分にできることはないか、何かしたいと思っている。そんな市民を応援する、起業化支援センターを設置できないか。

い。また、七城や荒尾市のセンターには玉名市民からの問い合わせが多いと聞くが。

**産業経済部長** 熊本県が起業・創業支援施設「夢挑戦プラザ」を県内3ヶ所に設置している。玉名商工会議所では経営指導員が起業希望者の相談に対応しており、近隣の大牟田や荒尾の商工会議所による起業セミナーも開催されている。

こうした取り組みについては、費用や専門的な人材の配置が必要なので、今後検討する。

新規就農支援を!!

**議員** 新規就農者の悩みは、農地確保、資金確保、住宅確保であると言われている。玉名市でも担い手が不足して荒廃農地がふえている。

新規就農希望者の相談窓口を一本化し、統合的に支援する「就農支援センター」を設置してはいかがか。  
**産業経済部長** 現在、新規就農

者の相談窓口として熊本県農業会議内に就農支援センターを設置し相談の対応を行っているが、地域振興局と連携をとるとともに、市独自の取り組みも検討する。

**議員** 地場産業の育成は雇用創出、市の活性化につながる。先般NHKでも放映され、ニューヨークタイムズにも掲載された「自動車のアクセル踏み間違い防止ペダル」を市として応援しないか。

**産業経済部長** 市としての支援については、今後検討する。

※その他、チェンジ玉名の位置づけについて質問した。



▲ 他市の創業塾の開催ちらし

来年度小学校実施  
新学習指導要領の対応は



吉田 きとく

**議員** 教育問題(1)新要領の準備と学力向上について①新要領に基づくシラバス作成②各教科の標準授業数③新要領に対応した指導案や教材の準備④学力向上授業時間数増の創意工夫⑤二学期制の評価(2)土曜日の活用土曜授業の再開(3)英語教育(使える英語)について①各学校間英会話交流等の奨励②英語時間数21小の統一(4)チエンジ玉名に教育振興基本計画(学力向上)を進言したのか。

の実施などで授業時数を確保する。⑤児童生徒、保護者、教職員を対象としたアンケート結果から所期のねらいは達成できた。二、土曜日に実施されてきた授業参観等を「学校週5日制」の趣旨を生かし実施する。三、①研修、A・L・T活用で日標達成を図る。②完全実施する。四、双方とも一体ととらえ取り組む。

**議員** 2校区懇談会と市長と語ろう座談会について。全258区中わずか12区試行を踏まえて、それより市長と語ろう若者との座談会や小中学校への出前対話等実施について。

**市長** 旧玉名市長時代に校区懇談会を経験し、校区単位等では個人の意見が出にくく意見の多くは校区要望の印象を受けていた。要望等はこれまで同様校区から市へ提出していただいていた。今後市内高校の生徒会正副会長や九看大学生自治会の諸君との意見交換も検討していきたい。

**教育長** 一、①新学習指導要領が確実に実行できるように冬休み前から作成②標準授業時数と実施授業時数に差が出ないように十分配慮する。③ハード、ソフト面において準備できている。

**議員** ④二学期制導入、行事等の精選及び夏季休業期間での家庭訪問へのネーミングの説明責任を強く要望。

※その他、チエンジ玉名の市民へのネーミングの説明責任を強く要望。



身体障がい者  
「憩の家」は何処に



北本 節代

**議員** 障がい者憩の家を昭和53年から28年余り運営してこられたが道路拡張に伴い立ち退きを余儀なくされた。その後合併協定書にもその部類の建物を建てるようになって

場所まで予定されていたが、どこにその話はいったのか。市の責務はないのか。

**市長** 市としては、今後、新たな建設は困難であるが、市庁舎等の空き室を利用し、何かしらの支援ができないか検討する。その際、大事なことは、中身は何をしたのか、その利用目的、必要性等を関係各障害者団体の皆様の御意見を聞き、進める。

改正労働安全法を守って  
メンタル面も健康に

**議員** 教職員、保育所など印鑑による労働時間の管理体制ではなく、タイムレコーダーにはできないのか。

有給の取得はできるようになっているのか。印鑑式の出勤簿では改正労働安全衛生法の面接指導等の把握はできないのではないのか。

**総務部長** 保育所職員の労務を把握し指導するため、タイムカード導入を検討する。  
**健康福祉部長** 保育所に年休代替保育士5人と用務員1人

男女共同参画の実現は？

**議員** 庁舎内管理職登用も含めての考え方を。

**市長** 「男女共同参画計画」の基本理念をもとに、委員会等へ女性委員30%登用を口指し「男女ともあらゆる分野に進出して自己実現が遂げられる社会」を築いていきたい。



▲ 北京JAC15周年全国シンポジウムin熊本

一般質問

新市建設計画と  
横島体育館建設は



中尾 嘉男

議員 新市になつてはや5年

を迎えるが、新市建設計画について次の3点を伺いたい。①当初の事業件数と22年度までの進捗状況、また中止となった事業はないか。②横島体育館建設について、計画書には23年度実施設計、24年度工事とある。合併特例債適用と聞いているが計画通りできるのか。③横島公民館跡地について、駐車場としての整備計画だったが未整備のまま。早期の整備を。

企画経営部長

新市建設計画

は、当初、23事業を計画していた。事業の先送りや統合、事業名称を変更して、138事業となったが、中止とした事業はない。進捗状況は、事業本数で、完了が48事業で約35%、実施中が43事業

で約31%、未実施が47事業で約34%。

横島体育館の建設は、新市建設計画では、19年度に取り組みとしていたが、集落排水事業など、緊急に実施しなければならぬ事業が浮上したため、総合的な検討を経て先送りとなっている。

また、平成22年度実施計画で、平成23年度に実施設計、平成24年度に工事としているが、平成23年度実施計画で、改めて多面的かつ総合的に検討する予定。緊急性や優先度などを考慮し取り組んでいく。

横島公民館跡地は、当初、横島公民館を解体後、舗装する計画であったが、同じ時期に体育館の建設が計画されたため、駐車場としての舗装計画を先送りした。ほこり等が飛散し迷惑をかけるような碎石全面にアスファルト乳剤の散布をして対応したい。

市長

昨年の事業見直しで緊急性を要する事業があり建設を延期した。今後も財政的なことを踏まえ検討したい。



▲ 横島体育館(旧横島中学校体育館)全景

農業機械補助金拡充を!!



横手 良弘

議員

玉名の元気は第1次産

業、中でも農家の元気なくしては始まらない。ぜひこの機械補助金は満額の回答を。

産業経済部長

この事業は、担

手の農作業の効率化、省力化等を推進し、経営の安定を図ることを目的として実施している事業である。今年度は、申請件数が例年より多く、補助率が13%程度と例年になく低い補助率となっており、認定農業者の会議等でも、引き上げの要望が強く出ている。そこで、今回補助率を25%以内まで引き上げるよう補助金の交付を予定している。市としては、第1次産業の中心である農業政策、中でも担手の育成を図りながら、今後ニーズに合った支援を行っていく。

玉名の活性化

プレミアム商品券!!

議員

アメリカのリーマンショック以来、ずっと景気が悪く、さらに円高も加わり、最近暗い話が多いなか、今回のプレミアム商品券は、商店や市民にとって嬉しい話である。早急の発券を望む。



▲ 農業補助金対象となるトラクター

入札制度について



内田 靖信

**議員** ①玉名市工事指名等審査会の運用について

市長は法令、条例、規則等を遵守し市政運営、行財政運営を行うべき責務があるのにもかかわらず、合併時に定めた「玉名市工事指名等審査会」が市長就任以来、運用がなされていないが、その理由と対処は。市長就任前は広報「たまな」において入札参加事業者が開示されていたが、現在開示されていないが、理由と対処は。

**市長** 指名審査会は、8月より

始めている。形式にとらわれないう、さまざまな観点から入札のあり方について試みているところ。審査会が開催されなかったのもその一環である。「広報たまな」の件については、見にくいと

の意見から近隣市を参考に変更した。入札結果は、契約検査課でも閲覧できるが、今後も公表方法について、研究していく。

**議員** ②随意契約について

市が発注した生見公民館改修工事は、本来競争入札を行うべき事案にもかかわらず、緊急性もなく、また契約の上限とされ、重要基準である予定価格を定めずに随意契約により特定の事業者と514万5千円の契約を行った。このことは、玉名市財務規則に反するが、これは不適切な入札ではないか。また監査委員はどのように指摘されたか。

**企画経営部長**

平成22年2月の臨時議会で、補正予算可決

後、実績がある業者を選定し工事に着手した。屋根の雨漏りで支障があり、緊急を要し随意契約で対応した。今後は、内容を検討し競争入札への改善を行い、予定価格も適正な設定に改める。監査時においては、随意契約理由書が添付されていないことを指摘した。



第三の新庁舎  
建設候補地になるのか



宮田 知美

**議員**

市長から20億削減の使命を受けた新庁舎検討委員会、市民会館付近と現庁舎敷地の2カ所それぞれ段階的に事業費を下げたパターンの意見書を提出された。しかし、突然、ジ

ヤスコの撤退、凸版印刷移転の発表がされ、この中心市街地の空き地の空洞化に市はどう対処し、また、第3の候補地にあがるのか。

**市長** 凸版は、敷地の面積やその位置など、条件が揃っている

ようだが、用地費等が提示され、それにより試算した事業費や規模等を他の候補地と比較して、優位性が認められることが条件。一方、ジャスコは、近隣の高齢者の利用が多いなど、買物難民問題まで発展しかねず、8月末に商工会議所と連名で存続または後継店確保等の要望書を提出したところ。市役所が移転しても、問題は解決しないので、庁舎の候補地にはなりにくい。

庁舎移転は崩壊の危機！

**議員**

江戸時代、高瀬は菊池川流域でとれた年貢米を大阪堂島へ運ぶ集積運搬地として栄えた。現庁舎は、昭和34年に建設され、玉名市の核として住居、銀行、病院、商店、飲食街、交

通など暮らしに必要な中心市街地を形成してきた。人口減少や空洞化が進む中、これからのまちづくりの核となる庁舎を他に移転させる大きな理由があるのか。

**市長** 検討委員会からの答申

も建設位置を1カ所に絞り込んだものとはなっておらず、現時点で建設位置は未定のまま。今後、改めて決定する必要がある。検討委員会での結果はもとより、中心市街地の空洞化問題も十分に念頭に入れ、手順を踏まえながら建設位置は決定する予定。



▲ 現庁舎。新庁舎はどこに！

一般質問

観光ほっとプラザ  
「たまふり」とは



江田 計司

て説明会を開催している。今後、  
営農検討委員会を充足させ、促  
進計画の策定を急ぐとともに12  
月から仮同意を徴集する。

**議員** ①戸別所得補償の内容は。

②耕作放棄地対策事業は。

**産業経済部長** ①生産調整達

**議員** 九州新幹線の全線開通も  
決まり新玉名駅に併設する交流  
施設「たまふり」の開業までのス  
ケジュールと役割また他の市町  
との連携はどうなっているのか。

**産業経済部長** 今議会の議決を

経て、玉名観光協会を指定管理  
者として決定し、新幹線全線開  
業前にプレオープンする。県北  
地域、菊池川流域の玄関口の観

光、物産の拠点として、新幹線  
利用される方のみならず一般客  
も大いに利用できる施設として、  
他の市町の協力体制をとり連携  
を図り進めていく。

**議員** 大野下地区の基盤整備の  
進捗状況は。

**産業経済部長** 24年度新規採

択を目指し、事業の推進を行っ  
ている。事業推進委員会の決定  
を踏まえて、地元公民館におい

し、麦大豆等を販売目的で作付  
した面積に応じ、定額助成する  
制度である。

②国・県の耕作放棄地緊急対策  
事業にあわせて市単独の補助を  
行い、耕作放棄地解消に努める。

**議員** 支所機能住民サービス  
低下の苦情が各支所から多い  
が。

**総務部長** 本庁と総合支所の連

携を強化し、サービス低下を引  
き起こさないようスムーズな住  
民サービスの提供を維持し、柔  
軟な対応に心がける。

**議員** 職員の交通事故が多くな  
っているがその対策は。

**総務部長** 事故処理委員会では本

人と所属長に反省をさせ、頭末  
書を提出させている。今後、職員  
に対する交通安全講習や研修も  
検討していきたい。



▲耕作放棄された畑

住民の信頼を回復する議会改革へ  
〔玉名市議会議員研修会〕

8月6日委員会室にて地方分  
権時代を先導する議会を日指し  
ている三重県議会議務局次長の  
高沖秀宣氏を講師に招いて研修  
会を行った。演題は「議会改革の  
意義とその展望―三重県議会の  
改革例から」

地方議会は今、住民代表機関  
としての信頼をなくしてしまっ  
た現状がある。議会は実質機能  
していないのではないかと言う

地域主権の実現と議会改革  
〔熊本市議会議員研修会〕

去る8月20日(金)熊本県下の  
市議会議員研修会が、熊本市内  
のKKRホテル熊本にて開催さ  
れた。  
内容としては元総務大臣・前  
岩手県知事の増田寛也氏による  
基調講演で「地方発・日本再生の  
道」地方議会の挑戦のテーマで  
開催。①今後の「地域主権戦略」  
の動向②地方分権を考える視点  
③地域主権戦略「原口プラン」の  
評価④議会改革についての4部  
構成により研修を行い、分権の原  
因を明らかにした。

批判。その結果、議員の定数削  
減、報酬削減、政務調査費の削減  
(廃止)など叫ばれている。しか  
しこれは議会改革ではないので  
はないか、今、最も必要な住  
民の意見を聞き、それらを反映  
した審議を工夫し、政策提案な  
どを行い、首長との二元代表制の  
一翼を担い「住民の信頼を回復す  
ること」が議会改革として急務  
と説かれた。



▲三重県議会の改革を熱く語られる高沖氏

## 地デジの難視地区に共同アンテナ補助金可決

付託された案件は議案3件、継続分の陳情2件。22年度一般会計補正予算中付託分について歳入歳出それぞれ17億8千円を追加し総額を279億5千785万8千円。歳入は、地方交付税や市債、繰越金の追加が主なもの。歳出の主なものは、地域振興基金及び財政調整基金積立金、「チェンジ玉名」パンフレット印刷費、結婚サポートセンター登録料補助金、防火水槽の解体費など。チェンジ玉名は52の施策をA4サイズの見開きの8ページで市民に周知。電波遮へい対策事業費補助金は、地デジの難視地区に共同アンテナを建てるもので対象

区域は伊倉一本松、大倉団地ほか3地域。地域振興基金積立金に合併特例債を活用することについての質疑は、地域振興のために行うソフトの事業の財源として基金を造成する場合、合併特例債を活用することが出来、今回は5億円を積立て、基金の用途は夏祭りやスポーツ大会の補助等。結婚サポートセンター登録料補助金、防火水槽の設置についても質疑応答があり、議案3件は全員異議なく可決。陳情2件については継続審査。

### 常任委員会

## 住宅用太陽光発電システム設置補助金の補正予算可決

委員会での主な質疑応答は次のとおり。①民生費、「質疑」住宅手当緊急特別措置事業補正額388万1千円について。「答弁」離職し住宅を喪失された世帯生計維持者へ家賃3万4千円を上限に6カ月間を期限に支給。②衛生費、「質疑」太陽光発電システム設置補助2千万円の期限。「答弁」昨年度の推移から来年1月頃の中請まで可能と思われる。③教育費、「質疑」コミュニティ・スクール推進事業の成果公表。「答弁」

地域から信頼され開かれた学校づくりを目的に今年度は玉陵中と天水中が指定され、成果は全国的に発信される。「質疑」「なかよしの口」制定経費200万円の内容。「答弁」主なものは10月30日の式典費用30万円程度。その他屋外イベントに20万円程度。それ以外にも啓発グッズ等80万円などを見込んでいる。採決の結果は全員一致で可決した。

文教厚生 総務

建設 産業経済

## 新幹線開業記念

### プレミアム商品券事業補助金可決

付託された案件は議案3件。主なものは商工費6千229万1千円の増額。



▲天水町農産物直売所郷○市加工所の室内

これは来年7月でアナログ放送からデジタル放送に移行に伴う共同受信施設整備事業補助金、また九州新幹線開業記念プレミアム商品券事業補助金です。商品券は千円券11枚をワンセット1万円で販売。発行総額2億2千万円の10%プレミアムで2千万円は市の補助です。他に指定管理者となる団体の玉名観光協会の観光ほっとプラザ「たまララ」と横島地区字の区域変更は、すべて全員一致で可決。

## 水道事業見積もり問題に対し、行政のあり方を指導

付託された案件は補正予算議案4件。一般会計は、玉名平野地区の排水路整備などで1億2千102万1千円の追加と、5月の豪雨での道路災害復旧費198万7千円の追加。簡易水道特別会計は基金の積み立てと天水小天東地区の簡易水道施設設計業務委託で785万4千円の追加。また、今回発覚した水道課が発注した事業で市が実施設計を委託した民間会社に見積もり依頼を任せてい

たという不適切処理問題に対し、行政のあり方と立場を指導。執行部より再発のないよう十分注意して業務に当たると陳謝。水道会計では市内に30ある水道施設の運転管理業務委託を23年度から3カ年で実施。同じく下水道会計も浄化センター等の運転管理業務委託を23年度からの3カ年で実施予定。いずれも原案どおり全員異議なく可決。

### 検討委員会から6案を市長に答申!

#### 新庁舎建設特別委員会

検討委員会の開催にあわせ8月5日、9月3日に特別委員会を開催。検討委員会から9月2日に提出の答申についても説明。

### 委員会報告

答申内容は、さまざまな視点から検討したが両立は難しく、「20億円削減なら現在地建て替え」、「広さを考えるなら市民会館付近」と意見が分かれ、2箇所の建設候補地ごとの事業費の6削減案を示したとのこと。しかし、答申を受けた当日、市長が「6案以外も検討し1月までに結論を出したい」と表明。それに対し委員から、市長は検討委員会の答申をどのように捉えているのか。今回の発言は市民に不安を与えることになるとの意見や、20億削減が足かせとなり建設位置も絞り込めていない状態で、合併特例債の期限に間に合うのか、等々質疑・応答がある。さらに、市長案・執行部案を早く議会等に出して欲しい旨要望をする。

### 新玉名駅周辺の開発構想、トンネル内を走行中

#### 新幹線新玉名駅周辺整備・玉名バイパス建設促進特別委員会

「線路は続くよどこまでも」という歌がある。原曲は19世紀のアメリカ民謡。日本語訳詞の歌は多くの方がご存知だろう。

8月31日、新玉名駅に真新しい「N700系さくら」が初お目見えした翌日、委員会を開催し玉名バイパス及び新駅前広場の整備状況を尋ねた。双方とも新駅開業に合わせ順調に推移中。ただ、新駅周辺の開発構想は、まだトンネルの中。委員会では事前に勉強会を開き方向性を協議しているものの、執行部は「今年度中早期に方針を固めたい」としたまま。委員からは「新駅開業は新たなまちづくりの絶好の機会。早急に市の将来像を描くべき」等の意見が出された他、いくつかの開発構想を提案した。なお次回委員会では、既に商工会議所等が作成している開発構想について参考人を招き意見を聞くこととした。

目頭の歌には「線路は人や物を運ぶだけでなく、夢を繋ぐもの」という意見が込められている。素晴らしい夢を描き、この玉名にも多くの人を呼び込みたい。

## 研修報告

### 議会報

#### もっと読まれる議会広報を目指して

7月12日から13日に平成20年度全国議会広報コンクール奨励賞を受賞した岡山県の美咲町と京都府の綾部市で議会広報研修を行った。特徴として多くの市町村議会広報は一般質問を中心に掲載されていますが、美咲町は各常任委員会の一問一答の質疑応答も詳しく載せ、写真や空間も多かった。



▲綾部市議会議長始めとする広報委員との研修風景

### 新庁舎

#### 対照的な2庁舎を視察

7月27日から2泊3日の行程で愛知県犬山市・岐阜県関市を庁舎建設について視察。犬山市は21年11月に旧庁舎跡地に新庁舎を建設、現在駐車場等を整備中。庁舎1階は市民サービスの一環として協働参画コーナーを設置、さらに、利用しやすいよう窓口部門が集約。地震対応のため免震構造を採用。関市は平成6年に建設、玄関を入つてすぐ広いアトリウムや市民ホールを配置、延床面積も約1万5千800㎡弱と広く、全体的に余裕のある造りで、玉名市に置き換えるなら犬山市が現在地、関市が市民会館付近と想定し研修した。



▲1階に集約された窓口業務

### 産業経済

#### これからの観光行政は近隣市町も巻き込んで



▲小樽市役所正面にて

7月21日、23日まで北海道函館市と小樽市で行った。観光都市函館に於いても10年間で観光客が3割ダウン。5年後新幹線開通が予定されている中で2市16町からなる「南北海道はこたて観光圏整備計画」をまとめた地域が一体なつていろいろな分野で5年後20%増を日

7月21日、23日まで北海道函館市と小樽市で行った。小樽市は観光客年間715万人が訪れている中で宿泊客は64万人。百貨店等毎年10店舗程度が閉店に追い込まれている状況。小樽単独での地場産品販路拡大のためインターネット販売「小樽家族」を立ち上げ運営されており意義ある研修ができた。

### 「新幹線開通に思う」



玉名市区長会  
協議会会長 東 隆夫

平成23年3月の九州新幹線新玉名駅の開業もあと半年となり、駅舎はもとより周辺整備が急ピッチで進んでいる。既に8月31日に

は試験列車の新玉名駅到着を迎え歓迎式が催された。

そんな中、開業に向けた「おもてなし」の取り組みとして、市の支援のもと新駅北側に地域みずからの取り組みとして「玉杵名の里山を守る会」で菜の花栽培をし、お客様を迎えたいと考えている。

それとあわせて本校区には、国指定の装飾古墳「大坊古墳、永安寺東、西古墳等」があり、その周辺の里山を整備し、よりたく山の観光客を誘致したいと会員皆張り切っている。



## 九州新幹線開業に期待するもの

### 「いよいよ九州新幹線開業 玉名の魅力を全国へ」



横島町 区長会長 田中孝治

いよいよ2011年3月新幹線が開通し、新玉名開業を迎えます。新しい時代の幕開けです。ふるさと「玉名」にとっても、日本全国

にふるさとの魅力を発信できる大きなチャンス。

特に、私の住む横島町は、加藤清正公による菊池川の水路変更による干拓工事により誕生した海から生まれた町。

「海の万里の長城」と言われる「山玉名干拓施設」の国の重要文化財への指定、干拓により形成された肥沃な大地から生産される、苺やトマトなど...

新幹線開業を機に、全国に向け、ふるさとをアピールしていきたいものです。

### 「目くばり、気くばり、思いやり」の心で！ 「日本一のおもてなし」



大野校区 区長会長 田上 一

心待ちにしていた九州新幹線全面開通が間近に迫ってまいりました。全国の方々に二度は行ってみたい玉名「さらにはもう一度行ってみたい玉名」と思っていただけ

るような、心のこもった「おもてなし」が必要です。私が旅先で一番大切にしている事は、その土地の方々とのふれあいです。景勝や料理がどんなによくとも、その土地でかかわりを持った人達の印象が悪ければ、二度とそこには足は向きません。私たち玉名市民一人一人が玉名にお越しいただく方々に「玉名の人達にもう一度逢いたい」と感じていただけるような心と心のふれあいを大切にして、お迎えしたいものです。

### 「県北唯一の停車駅を 最大限に生かす」



天水町 区長会長 池田彰孝

九州新幹線は平成23年3月の開業を控えて、建設工事も最終段階に入っていますが、一部では試験

運転を開始されているようであります。

新玉名駅の建設も終わり駅周辺の整備が急ピッチで進んでいるようであり、開業に伴い玉名市でも物産品への取り組み土産品の開発等も大変であると思われます。県北唯一の新幹線の停車駅であり、この駅を最大限に生かした街づくりを進め、観光客の誘致等に取組んでもらいたいと期待をしています。

### 12月定例議会予定

11月26日	金曜	議会運営委員会
12月3日	金曜	定例議会開会
		提案理由の説明
6日	月曜	一般質問
9日	木曜	一般質問
10日	金曜	一般質問
		議案の委員会付託
13日	月曜	総務委員会
		産業経済委員会
14日	火曜	文教厚生委員会
		建設委員会
17日	金曜	採決
		定例議会閉会

※都合により変更になることがあります。

### 編集後記

今年の夏は、大変な猛暑が続きこの暑さのために熱中症で大勢の人が亡くなられた。暑さは命を奪っていくことに恐れをなした。地球温暖化防止の対策がなされ日本がエコカー、エコポイントなどエコ商品が売りに出されている。

しかし本来はシンプルライフのすずめが重要な対策ではないのか。議会使用も新年号から増ページを委員会で決めた。紙を更に使っていくことは環境の問題からは考えさせられる。現在日本で使われている割り箸の97%は輸入に頼りその数は年間29億膳2階建て木造住宅の2万棟分にあたる木材量。これでもいいのかと問いかけた。議案編集特別委員 北 本 節 代